



# よくわかるホルモンの病気

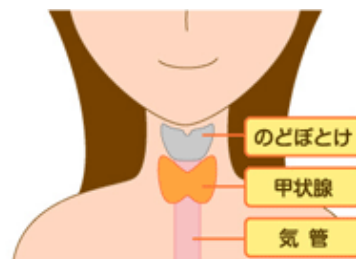
## ～甲状腺が腫れていると言われたら～

浅ノ川総合病院 糖尿病内分泌センター 2012年1月



### ☆ 甲状腺とは？

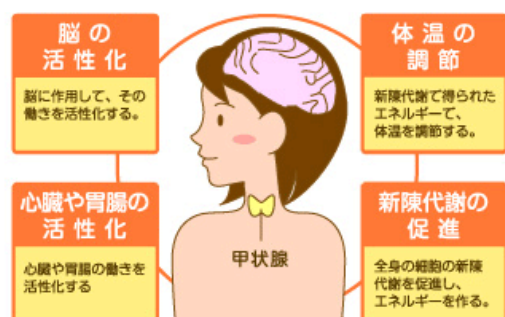
・甲状腺は、首の前面の「のどぼとけ」の少し下にあり、蝶が羽を開いたような形で、気管についています。ふつうの大きさは、両方の母指頭をあわせた位で、重さは成人で15-20g位です。



・甲状腺は、甲状腺ホルモンを産生貯蔵分泌する内分泌腺です。

・甲状腺ホルモンは、体の新陳代謝を促す働きをします。甲状腺ホルモンが過剰になると、全身の代謝が異常に盛んになり、汗をたくさんかいたり、脈が速くなり、心臓がドキドキしたりします。逆に甲状腺ホルモンが不足すると、全身の代謝が低下し、疲れやすくなったり、体がむくんだり、便秘になります。甲状腺ホルモンの値は、簡単な血液検査でわかります。

### 甲状腺ホルモンの働き



### ☆ 甲状腺が腫れていると言われたら？

・健康診断で甲状腺が腫れていると言われる人はまれではありません。特に女性では、報告にもよりますが15%位に何らかの甲状腺の異常があるといわれています。

・甲状腺が腫れている場合、ホルモンの値に異常がある病気や腫瘍がある場合があります。

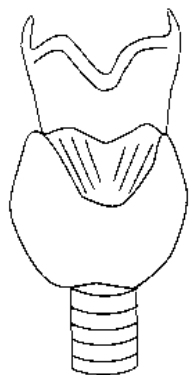
・甲状腺が腫れていると言われたら、①血液検査(ホルモンの値を測定する)と、②甲状腺エコー検査(甲状腺に腫瘍があるかどうかを調べる)を受けましょう。

甲状腺の病気のこと、お気軽にご相談ください。  
浅ノ川総合病院 別館2階 内科 糖尿病内分泌センター

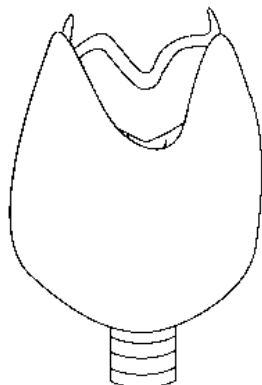


## ☆甲状腺の腫れの分類

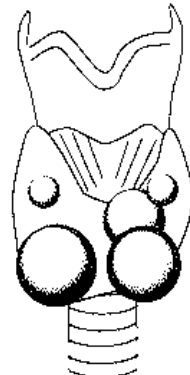
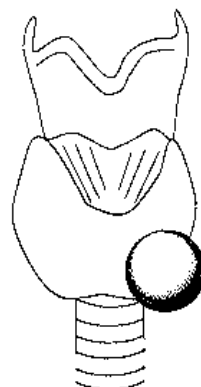
・甲状腺の腫れを、甲状腺腫(こうじょうせんしゅ)とい  
い、腫れ方で大きく次の2つに分けられます。  
この鑑別は、甲状腺超音波エコー検査で行います。



正常



a.全体に大きくなったもの  
(びまん性甲状腺種)



b.一部に腫瘍ができるもの  
(結節性甲状腺種)

## ☆どうして甲状腺が大きくなったのか？

甲状腺が全体的に大きくなる原因としては、

- ①甲状腺ホルモン値も正常で、ただ大きくなっただけのもの  
⇒単純性びまん性甲状腺種
- ②甲状腺を刺激する物質があるために、甲状腺が腫れ、働きが高まっ  
て、甲状腺ホルモン値も高くなり、代謝が盛んになりすぎるもの  
⇒バセドウ病
- ③甲状腺に慢性の炎症が起こって腫れたもので、  
甲状腺ホルモン値が低下してくるもの  
⇒慢性甲状腺炎/橋本病

などがあり、血液検査で鑑別を行います。



## ☆腫瘍は良性？悪性？

- ・診察、超音波検査、CT検査などで見つかった腫瘍は、良性か悪性(=癌)かを判断する必要があります。
- ・画像検査では、ある程度悪性らしいという事は分かる事もありますが、腫瘍の細胞の状態までは分からず、実際に腫瘍の部分の細胞をとってきて調べる必要があります。
- ・そこで、甲状腺内の腫瘍に、超音波で確認しながら細い針を刺し、細胞を採取する検査(穿刺吸引細胞診)を行います。



# よくわかるホルモンの病気

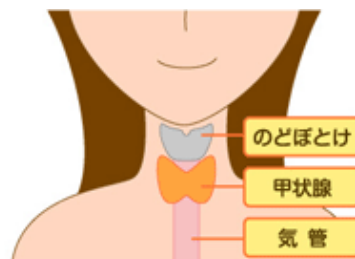
## ～甲状腺が腫れていると言われたら～

浅ノ川総合病院 糖尿病内分泌センター 2012年1月



### ☆ 甲状腺とは？

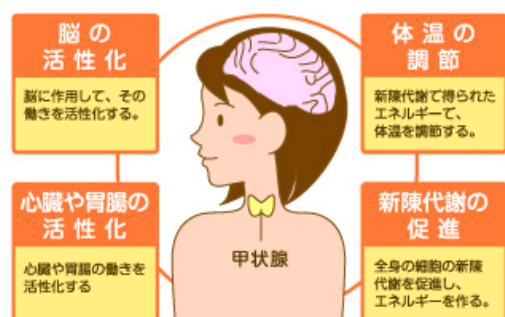
・甲状腺は、首の前面の「のどぼとけ」の少し下にあり、蝶が羽を開いたような形で、気管についています。ふつうの大きさは、両方の母指頭をあわせた位で、重さは成人で15-20g位です。



・甲状腺は、甲状腺ホルモンを産生貯蔵分泌する内分泌腺です。

・甲状腺ホルモンは、体の新陳代謝を促す働きをします。甲状腺ホルモンが過剰になると、全身の代謝が異常に盛んになり、汗をたくさんかいたり、脈が速くなり、心臓がドキドキしたりします。逆に甲状腺ホルモンが不足すると、全身の代謝が低下し、疲れやすくなったり、体がむくんだり、便秘になります。甲状腺ホルモンの値は、簡単な血液検査でわかります。

### 甲状腺ホルモンの働き



### ☆ 甲状腺が腫れていると言われたら？

・健康診断で甲状腺が腫れていると言われる人はまれではありません。特に女性では、報告にもよりますが15%位に何らかの甲状腺の異常があるといわれています。

・甲状腺が腫れている場合、ホルモンの値に異常がある病気や腫瘍がある場合があります。

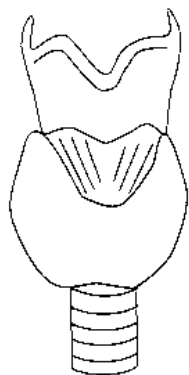
・甲状腺が腫れていると言われたら、①血液検査(ホルモンの値を測定する)と、②甲状腺エコー検査(甲状腺に腫瘍があるかどうかを調べる)を受けましょう。

甲状腺の病気のこと、お気軽にご相談ください。  
浅ノ川総合病院 別館2階 内科 糖尿病内分泌センター

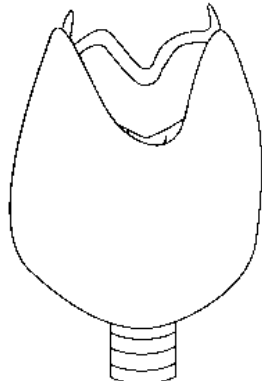


## ☆甲状腺の腫れの分類

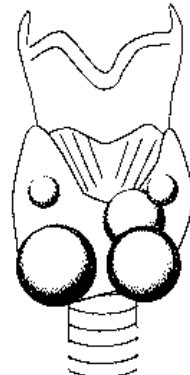
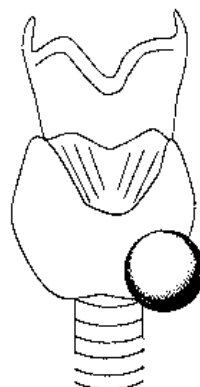
・甲状腺の腫れを、甲状腺腫(こうじょうせんしゅ)とい  
い、腫れ方で大きく次の2つに分けられます。  
この鑑別は、甲状腺超音波エコー検査で行います。



正常



a.全体に大きくなったもの  
(びまん性甲状腺種)



b.一部に腫瘍ができるもの  
(結節性甲状腺種)

## ☆どうして甲状腺が大きくなったのか？

甲状腺が全体的に大きくなる原因としては、

- ①甲状腺ホルモン値も正常で、ただ大きくなっただけのもの  
⇒単純性びまん性甲状腺種
- ②甲状腺を刺激する物質があるために、甲状腺が腫れ、働きが高まっ  
て、甲状腺ホルモン値も高くなり、代謝が盛んになりすぎるもの  
⇒バセドウ病
- ③甲状腺に慢性の炎症が起こって腫れたもので、  
甲状腺ホルモン値が低下してくるもの  
⇒慢性甲状腺炎/橋本病

などがあり、血液検査で鑑別を行います。



## ☆腫瘍は良性？悪性？

- ・診察、超音波検査、CT検査などで見つかった腫瘍は、良性か悪性(=癌)かを判断する必要があります。
- ・画像検査では、ある程度悪性らしいという事は分かる事もありますが、腫瘍の細胞の状態までは分からず、実際に腫瘍の部分の細胞をとってきて調べる必要があります。
- ・そこで、甲状腺内の腫瘍に、超音波で確認しながら細い針を刺し、細胞を採取する検査(穿刺吸引細胞診)を行います。